



ファームウェアバージョン:	V3.00.017	
ハードウェアバージョン:	DGS-1100-24PV2	A1/A2/A3
発行日:	2022/11/21	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード時の注意事項:	2
WEB GUI を使用したアップグレード手順:	2
追加機能:	5
MIB および D-View モジュールの変更点:	5
修正した問題:	5
既知の問題:	6

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
Runtime: V3.00.017	2022/11/21	DGS-1100-24PV2	A1/A2/A3

アップグレード時の注意事項：

- コンフィグレーションのリストアに関して以下の制限があります。
 - R1.00.xxx をご利用の機器に、R2.00.xxx/R3.00.017 のコンフィグをリストアすることはできません。
 - R2.00.xxx/R3.00.17 をご利用の機器に、R1.00.xxx のコンフィグをリストアすることはできません。

※アップグレード/ダウングレードにおいては、バージョンに関わらずコンフィグレーションは問題なく引き継がれます。
- ハードウェアバージョン：A3 をご利用の場合
ファームウェアは R3.00.017 のみ使用できます。
R2.00.011、R 2.00.003 、 R1.00.xxx へはダウングレードできません。
- ハードウェアバージョン：A2 をご利用の場合：
ファームウェア R 2.00.003 、 R1.00.xxx へダウングレードすることはできません。
R2.00.011 から R3.00.017 へのアップグレード、R3.00.017 から R2.00.011 へのダウングレードは実行できます。
- ハードウェアバージョン：A1 をご利用の場合
すべてのファームウェア（R3.00.017、 R2.00.xxx 、 R1.00.xxx）を使用できます。
- FW:3.00.017 は DGS-1100-24PV2 でのみ使用できます。

WEB GUI を使用したアップグレード手順：

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード：admin
3. 「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。以下の手順を参照し、アップグレードを実施してください。

HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) 「Tools」 > 「Firmware Upgrade & Backup」 > 「Firmware Upgrade from HTTP」 の順にクリックします。
- (2) ローカル PC 上のファームウェアのファイルを選択して「Upgrade」をクリックすると、ファイル転送及びアップグレードが開始されます。




- (3) アップグレード中のステータスを表すメッセージが表示されます。メッセージが消えるまでそのままお待ちください。



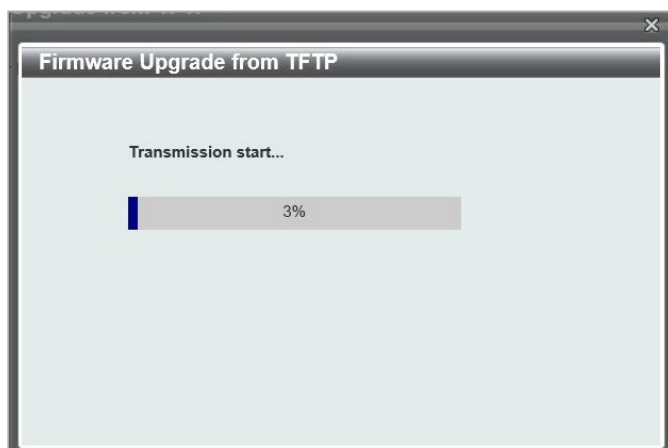
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) 「Tools」 > 「Firmware Upgrade & Backup」 > 「Firmware Upgrade from TFTP」 の順にクリックします。
- (2) TFTP サーバの IP アドレスとファイル名を指定して「Upgrade」をクリックすると、ファイル転送及びアップグレードが開始されます。
TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
Source File : TFTP サーバ上にあるファームウェアのパスとファームウェアファイル名を入力します。
(例 : DGS1100V2_Ax_FW3_00_017.bin)



- (3) アップグレード中のステータスを表すメッセージが表示されます。「Done.」（完了）メッセージを確認後、ポップアップ画面を閉じます。



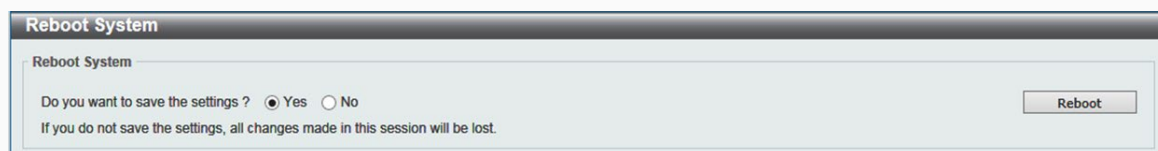
注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. 「Tools」 > 「Firmware Information」 をクリックします。
5. 該当するイメージ（Ver3.00.017）の行にある「Boot UP」 ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



※ 「Image ID」 欄の* は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

6. 「Tools」 > 「Reboot System」 を選択し、Reboot System 画面で「Yes」を選択して「Reboot」 ボタンをクリックします。



7. 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

8. スイッチの再起動後に Web 管理画面にログインし、R3.00.017 で起動していることを確認します。

Device Information			
Device Information			
Device Type	DGS-1100-24PV2 Gigabit Ethernet Switch	MAC Address	88-63-09-a2-a9
System Name	SWITCH	IP Address	10.90.90.90
System Location		Mask	255.0.0.0
System Contact		Gateway	0.0.0.0
Boot PROM Version	Ver 1.11	System Time	01/01/2000 00:01:05
Firmware Version	Ver 3.00.017	Serial Number	QSA51JC000003
Hardware Version	A1		

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R3.00.017	<ol style="list-style-type: none"> DGS-1100-24PV2 のハードウェアバージョン A3 をサポート致しました。 L2 Features > Link Aggregation 画面に「System Priority」「Load Balance Algorithm」の設定項目を追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

MIB ファイル	変更点
DLINKPV2-SYSTEM-FILE-MIB.MIB	NextBootup をサポート致しました。
DLINKPV2-DEVICE-INFORMATION-MIB.mib	CPU 使用率とメモリ使用率の取得をサポート致しました。
DLINKPV2-LACP-EXT-MIB.mib	LACP システムプライオリティとロードバランスをサポート致しました。

修正した問題：

ファームウェアバージョン	修正した問題
R3.00.017	<ol style="list-style-type: none"> 12時間経過後にWeb GUIが応答しなくなる場合がある問題を修正致しました。 セットアップウィザードの「Ignore the wizard next time」（次回から表示しない）にチェックをいれても、リブート後に再度セットアップウィザードが表示される問題を修正致しました。 SNMPコミュニティ名に"-(ハイフン)"が使用できない問題を修正致しました。 DHCPメッセージのoptionを削除致しました。 Time Range設定で、曜日を個別に選択できない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.00.017	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンフィグレーションのリストアに関して以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> - R1.00.xxxをご利用の機器に、R2.00.xxx/R3.00.017のコンフィグをリストアすることはできません。 - R2.00.xxx/R3.00.017をご利用の機器に、R1.00.xxxのコンフィグをリストアすることはできません。 2. ハードウェアバージョン：A3をご利用の場合、以前のファームウェア（R2.00.xxx、R1.00.xxx）へダウングレードすることはできません。 ハードウェアバージョン：A2をご利用の場合、以前のファームウェア（R2.00.003、R1.00.xxx）へダウングレードすることはできません。 3. Configure VLAN Interface画面で行ったVLAN変更が、802.1Q VLAN画面に反映されない場合がある問題。 VLAN Configuration Wizard でVLAN2を作成しUntaggedポートを登録 →VLAN Interface画面の「Edit」で該当のポートをAccessモードに変更しVLAN1へ変更を行っても、最も番号の大きいポート（ポート2-4をUntaggedポートとして登録した場合はポート4）のVLAN変更が802.1Q VLAN画面では反映されず、VLAN2のまま表示されます。 回避策： Configure VLAN Interface画面でいったん該当ポートのモード/VLAN設定を変更（Hybrid/VLAN2など）して保存→再度設定（Access/VLAN1）を行うと、802.1Q VLAN画面でもVLANの変更が正しく反映されます。

Copyright 2006-2022 D-Link Japan K.K.